

日刊 磐城時報

編輯者 石城郡平町 田中 弘成
印刷者 石城郡平町 田中 弘成
發行所 石城郡平町 田中 弘成
電話 一〇〇
郵政掛號 第一四四號
代價 一月三圓 三月八圓 半年一五圓 一年二八圓
廣告料 一行一圓 一月三圓 三月八圓 半年一五圓 一年二八圓
印刷 (日曜、祭日) 休刊

電氣料値下運動

全町民の調印をこる

具体的活動に着手

平町に於ける電氣料値下げ運動は既報の如くで過般半町區長會を開き電燈料値下成同盟會を組織し實行委員を擧げ決議事項として

- 一、電氣事業は將來之を町營とする事。
- 二、要求事項は町會の要求事項と同一とし尙ほ左の一項を加ふ「瓦斯の最低使用料金及びメーター使用料金を全廢する事」
- 三、一般に出來得る限り減燭並に撤廢する事。
- 四、鐵道街燈は二月十五日限り撤廢する事。

撤廢する事。但し各關係區相互に連絡し一齊に之を行ふ事。

五、各區の街燈は二月十五日限り撤廢する事。

六、會社に於て要求を拒否した場合は消燈をなす事。

七、申合事項實行に關し賛成者の調印を總期成同盟會に提出する事。

八、決議したが二月一日から町民の調印を取纏め愈々實行運動に及ぶ事。

赤坂龜次郎翁から 木村候補に寄附

東京無名氏からは二十圓

續々々々々々々々々々々々

政友派候補木村清治氏は貧乏候補と稱せられてゐるため各方面から物質的の同情も續々と集りつつあるが、二月一日には石城郡上遠野村元代議士赤坂龜次郎氏から左の如き書面に金三十圓を添え寄附して來た外東京無名氏から金二十圓の寄附申込があつた。

(前略) 今の僕は足下が再び榮

一日午前九時來平同志と共に縣社子鐵倉神社に詣で當選の祈願をなした午後一時上京した。

▲青年同盟會 磐城青年同盟會では一日午後一時から石城郡草野村公會室に於て選舉對策の打合せを開いた。

貧困者慰安のため

金五十圓寄附

田町の駒場四郎氏が

神社参拜と初賣

正月二日は相馬地方の善男善女男女老若は恒例に依り二日午前一時より深夜寒冷物どもせず中村、太田、小高各神社に參詣するは一名物なるが本年も例年と同じく參拜者引も切れず多かりし緊縮氣分も賽銭は昨年の半分位であつたと。而して原町、小高町の兩町では賣出初めとて夫々景品を出し相當賑はつた。

巧みに萬引

青木善吉の手段

手傳ひに行つて

平町田町駒場株式店駒場四郎氏を見すまして高價品を多く窃取は舊正月に際し餅料にも困つては青木さんで通つて居りその犯行の巧妙さと大膽さには刑事連も舌をまいて居る、青木は昭和二十年十月頃から前記木戸村に呉服、雜貨店を開き弟と共に營業しその頃から萬引を始めたもので商品の三分の二は萬引品によるものであると、賣上げ金は平町鎌田遊廓、同町田町大貞その他の料理店で大抵消費したものである。

原町通信

愈々けふ

飛行大會

東北飛行協會主催の原町飛行大會は二月一日舉行の筈である。

石神村長の再選

馬郡石神村長大和田長次郎氏は來る二月十六日満期の處去る廿九日村會議員召集臨時四年度追加豫算更正の件に付き附議の際村會改選の議も附せられたるが現村長大和田長次郎氏満期一致を以て再選したつたが、準備の都合上一日延期した二日の日曜に舉行する事になつたが、既報の如く當日は原町驛浪江中村間は臨時列車を運轉する。

比佐野崎兩派であす別々に會合

黨務打合せを開く

七日石神村北平町南町民政俱樂部に於て

石城民政黨では二日午後一時から平町南町民政俱樂部に於て緊急黨務打合せを開き選舉對策を講ずる事になり、郡内幹部に通知したが一方過般有聲座に於て選ばれた會長漆畑元吉氏も二日午後一時から平町田町丸清方に幹部を召集し黨務打合せを開く等であるといふので一般の興味を引いてゐる。

石城郡に於ける

前回選舉得票数

好野間	比佐	木村	松本	氏家	山田	佐川	計
九七〇	五二〇	八二〇	五二〇	三三〇	一八〇	一八〇	二八七〇
飯野	三三〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	一三六〇
草野	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	一三六〇
鹿島	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	一三六〇
夏井	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	一三六〇
高谷	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	一三六〇
神谷	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	一三六〇
大谷	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	一三六〇
豊間	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	一三六〇
平倉	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	一三六〇
植田	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	一三六〇
川部	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	一三六〇
錦部	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	一三六〇
渡邊	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	一三六〇
計	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	一三六〇

原町通信

愈々けふ

飛行大會

東北飛行協會主催の原町飛行大會は二月一日舉行の筈である。

石神村長の再選

馬郡石神村長大和田長次郎氏は來る二月十六日満期の處去る廿九日村會議員召集臨時四年度追加豫算更正の件に付き附議の際村會改選の議も附せられたるが現村長大和田長次郎氏満期一致を以て再選したつたが、準備の都合上一日延期した二日の日曜に舉行する事になつたが、既報の如く當日は原町驛浪江中村間は臨時列車を運轉する。

小學生の喧嘩

相馬郡中村町第一尋常高等小學校尋常科三年生同町表西山大寺一次男(十一)と同級生同町小泉佐藤隆十一と遊戯中活動寫眞の眞似を爲し居たが遂に喧嘩となり要が懷中にした大鉛筆削用及渡二寸許りのナイフを奪ひて要の後頭部に斬り付け長さ六センチメートル、深さ骨膜に達する重傷を負せられたが、教員駆け付け守口醫院に搬送込み目下治療中であるが目下父兄間に問題となつて居る。

政黨の癩

政黨の癩 政黨生投
譯の判らぬものは總選舉毎に政黨の本部から候補者へ、更に世にバラ撒かれた龍大な選舉費である。ノベツ政黨來の政黨本部にさういふ金があるとはどう考へても信じられない。

政商、富豪の寄附か、献金が全體の邊にあることは何人も肯れる。政黨といふものが左様に金の要るものせよ、これに氣前よく篤志家が淨財を寄附、献金することに吾等は多大の敬意を表する。

只さうした金の授受の後には何もかものもたらされはしないかを憂ふる。喧嘩をして頭を下げさせられた者は毛頭忘れない、金の贈受は贈つた者が金輪際忘れない、こう考へて來ると政黨對政黨、富豪の金の授受の結果が思はれるではないか、授者が佛心ある仁者でない限りやがては忘れず、何者かを求めるは人性の常。

吾等が更に一層心外に思ふのは、二大政黨が各その黨首に謹嚴、清廉の土で鳴る漢口さん剛直、清貧に甘んずることされる犬養さんを戴くことである。兩者が献金を甘受して矛盾を感じざるものせば清廉と清貧が噴飯する。政商、富豪と政黨間にこうした交渉の絶えぬ限り政界の淨化も、選舉の草正も木によりて魚を求むるに等しい。

こうした政黨のぬいを退治し政黨の癩を根絶せぬ限りおそろく政界は清められない。
▲取消し 本紙第四千八百七號第四千八百八號、第四千八百九號第二面掲載九はん賣出し廣告は全部を取消す。

「まあ丈夫になつたわ」是れも平町七丁目の熱心湯のお蔭様よ。ほんたうに良く効に、香りたわ。そして湯の安い事、朝の十時から夜迄入つて湯治の方は二階座敷料共で僅か二十五錢よ。



「あらさう?! それではあたかもこれから毎日行くわ、そして丈夫な身体になるわ……」

家傳腫物湯

定 價 二日分 金五十錢

●いたみはれ物 ●筋骨痛(神經痛に相當す) ●關節痛(リウマチスに相當す)

●効能説明 ●いたみはれ物 いたみはれ物と申しましても非常に範圍が廣いのでありますが、本劑が特に効を奏する重なる病名を擧ぐれば、▲顔や脊によく出来る癬疥が這入つて皮膚と筋肉との間に化膿する皮下蜂窩織炎、▲頭、腋窩、鼠蹊などの腫れる急性淋巴腺炎、▲筋肉の化膿する化膿性筋炎、▲骨の化膿する骨膜炎等凡て化膿性腫物に顯著なる効力があります。勿論病症に依り薬効に遅速あります。輕症は三日乃至五日位、重症は二週間乃至五週間位で効果を見る事が出来ます。

特約店 平町四丁目 小野藥店 電話一四四

美味にして 強壯の効 著大

Aspin-Tonik

定 價 三瓶 五瓶 十瓶

代 理 店 野山 藥局

新妻眼科醫院

入院 應需 ●看護婦一名至急募集

平町 宇紺 屋町

長谷川椅子店

創立十五週年に付洋式家具の亂賣大會を開始致しました。此の好機を逸せず是非お求め下さい。

- 一、〇〇〇ヨリ 五、〇〇〇マデ 正札の二割引
 - 一、〇〇〇ヨリ 一〇、〇〇〇マデ 正札の二五割引
 - 一、〇〇〇ヨリ 以上 正札の三割引
- 商品には皆正札を附けました、割引賣出だからとて掛價は絶対にしてありません、普通のお値段より安い正札を附けた上右の通り割引して差上げるのです。
- 特賣品 各種テール、各種機、各種本箱、洋服タンス、火鉢、書棚、花臺、外在商品一切
- 商品は皆小店製にして保證附のものです、下りものでありませんから安心して求められます。

女髮結用椅子 七、五〇 五、七五

事務用椅子 三、八〇 三、〇四

店用椅子 大勉強 八七錢均一

期間 舊十二月廿八日ヨリ 十日間 舊一月七日マデ

長谷川椅子店

瀧三郡小學校、各炭礦御用達

平町 二丁目

オピール錠

藥學博士 丹波敬三先生製藥指導
醫學博士 豊島豊次郎先生動物試驗

咳止の 妙藥

特約店 平町一丁目(電話四六二番) 大平屋藥店

醬油と味噌

山崎合名會社

東京支店

上野車坂四三

電話 下谷五七二番 振替東京六八三二番

石炭の特色

弊店の石炭は常に安く良くと言ふ事を信條として居ります。

石炭は只單に一俵いくらと申しても日方が正確でなければ眞に安いと申されません。日方の正確品質の優良 當店は日方の正確を期する爲に正味十貫目 一俵を六十錢と定めました

弊店の石炭は磐城炭礦、最上等の品で品質は常に一定して居ります。大量生産ですから安く賣る事が出来る強味を持つて居ります。

弊店の石炭が他の何處の品よりも高いと御思召す場合は御手数にて御知らせ下さい、御氣に召す様に致します

阿部石炭商店

電話 三三七番 配達は一俵より致し升

金解禁後 第一回 新入荷品

謝恩第二回福引付

時計大廉賣

弊店にて金五圓以上の時計御買上の御客様に對し左の大當り福引券進呈

- 壹等 金側スズ製アングル腕巻時計 五本
- 貳等 銀側スズ製アングル腕巻時計 二〇本
- 參等 銀側スズ製アングル腕巻時計 五〇本
- 四等 銀側スズ製アングル腕巻時計 一五〇本
- 五等 精工舎製目覺付置時計 二七五本

總て空籤なしの大當り福引にて賞品は弊店保證付の賞品

平町 一丁目

常盤屋時計店

電話 三三九番

期日 舊十二月廿三日より 新一月廿四日 十日間 正月三日迄